ACHN□胞

300117

ACHN□胞株は、広範な転移を伴う腎腺癌を有する22歳の白人男性の悪性胸水から由来する。本□胞株は1979年11月、癌□胞を10%胎児牛血清（FBS）含有イーグルMEM培養液を含む培養フラスコに直接播種することにより樹立された。 150日間にわたり、□胞はin vitroで維持・継代された。その後、□胞はヌードマウスに皮下接種され、4週間以内に触知可能な局所浸潤性腫瘍を形成した。この□胞株は腫瘍形成能を有し、10^7個の□胞を接種したヌードマウス5匹中5匹（100%）に21日以内に腫瘍が発生したことで実証されている。
ACHN□胞は接着性増殖パターンを示し、G6PD（B型）を含む特異的アイソザイムを発現する。本□胞株はヒトインターフェロン及びインターフェロン誘導剤への応答性も示し、抗増殖研究に特に有用である。元のACHN□胞及びヌードマウス腫瘍から回収した□胞の両方とも、ヒトインターフェロン存在下で増殖抑制が認められ、腎癌に対するインターフェロン療法の有効性を探る研究への応用可能性が示唆される。
ACHN□胞株は、特に腎腺癌の文脈において、癌研究のための貴重なツールである。腫瘍形成能、転移行動、およびインターフェロンが癌□胞増殖に及ぼす影響を研究するための重要なモデルとして機能する。生体内での腫瘍形成能力とインターフェロン治療への反応性は、腎 □胞癌を標的とする新たな治療法の開発と検証のための堅牢なプラットフォームを提供する。

概要

□明

ACHN□胞株は、広範な転移を伴う腎腺癌を有する22歳の白人男性の悪性胸水から由来する。本□胞株は1979年11月、癌□胞を10%胎児牛血清（FBS）含有イーグルMEM培養液を含む培養フラスコに直接播種することにより樹立された。 150日間にわたり、□胞はin vitroで維持・継代された。その後、□胞はヌードマウスに皮下接種され、4週間以内に触知可能な局所浸潤性腫瘍を形成した。この□胞株は腫瘍形成能を有し、10^7個の□胞を接種したヌードマウス5匹中5匹（100%）に21日以内に腫瘍が発生したことで実証されている。
ACHN□胞は接着性増殖パターンを示し、G6PD（B型）を含む特異的アイソザイムを発現する。本□胞株はヒトインターフェロン及びインターフェロン誘導剤への応答性も示し、抗増殖研究に特に有用である。元のACHN□胞及びヌードマウス腫瘍から回収した□胞の両方とも、ヒトインターフェロン存在下で増殖抑制が認められ、腎癌に対するインターフェロン療法の有効性を探る研究への応用可能性が示唆される。
ACHN□胞株は、特に腎腺癌の文脈において、癌研究のための貴重なツールである。腫瘍形成能、転移行動、およびインターフェロンが癌□胞増殖に及ぼす影響を研究するための重要なモデルとして機能する。生体内での腫瘍形成能力とインターフェロン治療への反応性は、腎 □胞癌を標的とする新たな治療法の開発と検証のための堅牢なプラットフォームを提供する。

ティッシュ	腎臓
病気	腺癌

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
腫瘍形成性	はい、ヌードマウスで
倍増時間	30時間

識別子

引用

ACHN (Cytion カタログ番号 300117)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1067

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

発現と感受性

発現している受容体

CAIx- （炭酸脱水酵素Ix）

タンパク質の発現

P53陽性

アイソザイム

CAIx

取り扱いと飼育

培地

EMEM（MEM Eagle）、w：2 mM L-グルタミン、w：2.2 g/L NaHCO3 ′ w：EBSS（Cytion論文番号820100a）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSと1% NEAAを添加する。

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml ′ T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml ′ T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、 □胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、 □胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	10^4□胞/cm^2の密度で播種すると、4日以内に単層が密接に形成される。
流体の更新	週2～3回
解凍後の回復	解凍後、□胞を5×10^4□胞/cm^2で播種し、凍結処理からの回復と接着を少なくとも 24時間以上行う。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	22年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB